

令和6年度土木学会全国大会 研究討論会 開催報告

土木 D&I 2.0 女性技術者活躍の現在位置とこれから — 土木 D&I の歴史と未来 —

【開催概要】

日時：2024年9月4日（水）10:00～12:00

行事名：令和6年度土木学会全国大会 研究討論会（24）

土木 D&I 2.0 女性技術者活躍の現在位置とこれから
— 土木 D&I の歴史と未来 —

会場：仙台国際センター 小会議8

主催：公益社団法人 土木学会 ダイバーシティ・アンド・インクルージョン推進委員会
参加者数：47名

D&I 委員会の前身となる委員会が発足して20年、「土木学会 D&I 行動宣言」が発行されてまもなく10年。女性技術者活躍の現在位置とこれからのについて、土木 D&I の基礎を築いた岡村美好氏、土木 D&I 2.0 への発展を目指した佐々木葉氏とともに考えました。また、行動宣言策定の中心人物二人による「D&I 行動宣言の振り返り」、「D&I パネルディスカッション」の後、参加者がそれぞれの「私の行動宣言」を発表しました。

【プログラム&登壇者】

司会：黒川信子（日本工営（株））

1. 土木 D&I の歴史と未来

- ・岡村美好氏（元・ジェンダー問題検討特別小委員会幹事長、元・ダイバーシティ推進小委員会委員長、山梨大学）
- ・佐々木葉氏（前・D&I 委員会委員長、第112代土木学会会長、早稲田大学）
- ・アンカー：米山賢（（株）建設技術研究所）・山田菊子（（株）ソーシャル・デザイナーズ・ベース）

2. D&I 行動宣言の振り返り

- ・飯島玲子氏（パシフィックコンサルタンツ（株））
- ・三橋さゆり氏（（一財）日本建設情報総合センター（JACIC））

3. ワークショップ 私の D&I — 未来にむけて自分の行動宣言をしよう！

(1) D&I パネルディスカッション

中島裕樹氏（大成建設（株））、Palchyk Vira（パルチク ヴィラ）氏（日本工営（株））、
亀村勝美氏（（公財）深田地質研究所）
アンカー：平永佐知子（JR 東海コンサルタンツ（株））

(2) みなさんの「私の行動宣言」発表

【内容】

1. 土木 D&I の歴史と未来

土木学会における D&I 活動の黎明期に尽力した岡村美好氏と、活動を発展・加速させ女性として初めて土木学会会長に就任した佐々木葉氏を迎え、20 年にわたる土木 D&I の歴史を参加者とともに共有しながらお話を伺った。岡村氏からは振り返りとして、当時、岡村氏が発足させた委員会が置かれた状況や周囲への対応などが語られ、佐々木氏からは岡村氏への感謝と思い描く未来の土木 D&I の姿やそのために取り組んでいきたいことなどが語られた。



写真-1 土木 D&I の歴史と未来を語るお二人（左：佐々木氏、右：岡村氏）

2. D&I 行動宣言の振り返り

2015 年に策定した「土木学会 D&I 行動宣言」について、当時、策定の中心的な役割を担った登壇者に説明いただいた。行動宣言をわかりやすく、さっと読めるものにしたと、土木会館 1 階の丸テーブルで何回も打合せを行ったそう。ポスターは、みんなが関心を持ち多様性を表現できる、様々な形や具のおにぎりの写真を活用し、現在でも好評を得ている。行動宣言作成後も委員会では、フォローアップを続けており（D&I カフェトーク、リーフレットの作成等）、今後は、意思決定層の多様性の向上や行動宣言の拡充検討等を実施していく予定と締めくくられた。



写真-2 D&I 行動宣言の振り返り（左：三橋氏、右：飯島氏）

3. ワークショップ

(1) D&I パネルディスカッション

年代・性別・国籍の異なる3名の登壇者によるパネルディスカッションを行った。日頃考えているD&Iについて、家事・育児、女性・外国人材の活躍など登壇者の実体験に基づく率直な意見に、参加者からは同意する素振りや笑いが起きるなど、会場が一体となった。



写真-3 パネルディスカッションの様子

(2) みなさんの「私の行動宣言」発表

会場の参加者・登壇者の皆さんに記入用紙を配り、日々心がけていることを振り返り、「私の行動宣言」を記入してもらった。佐々木葉会長含め、会場の3名から発表があり、佐々木葉会長からは、行動宣言の「認める・活かす・育てる」それぞれについて、相互の循環を大切にする場をつくっていききたい、とのコメントがあった。会場の全員が、自分を振り返り、自分なりの行動宣言を書くことで、D&Iをより身近に感じた様子であった。



写真-4 私の行動宣言（集合写真）